

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第40週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 7 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	—
		高鍋	40歳代	男	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱、O-157(VT1、2)
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50歳代	男	AIDS	発熱、汎血球減少 指標疾患：サイトメガロウイルス感染症
	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	60歳代	男	—	発熱、咳、肺炎、菌血症
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳、スタックート
		都城	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		延岡	5~9歳	女	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	5~9歳	女	—	持続する咳
		高鍋	5~9歳	女	—	持続する咳
日向	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み		

### 《前週との比較》

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は614人(定点当たり17.4)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

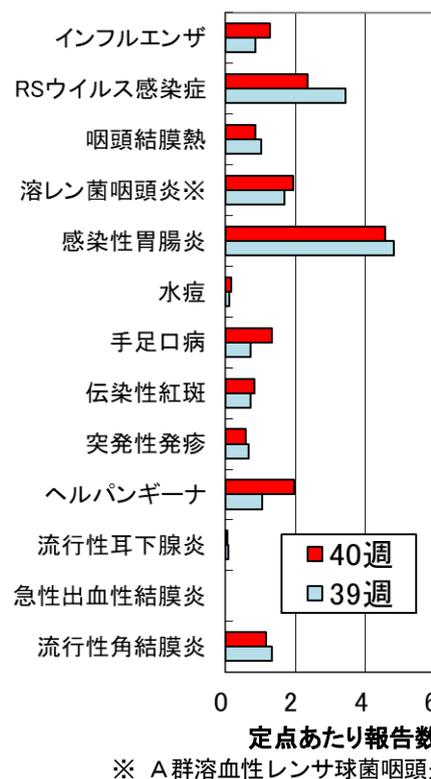
#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

報告数は76人(1.3)で、前週比150%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.05)の約25.8倍である。宮崎市(2.4)、小林(1.4)、高鍋(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約6割を占めた。

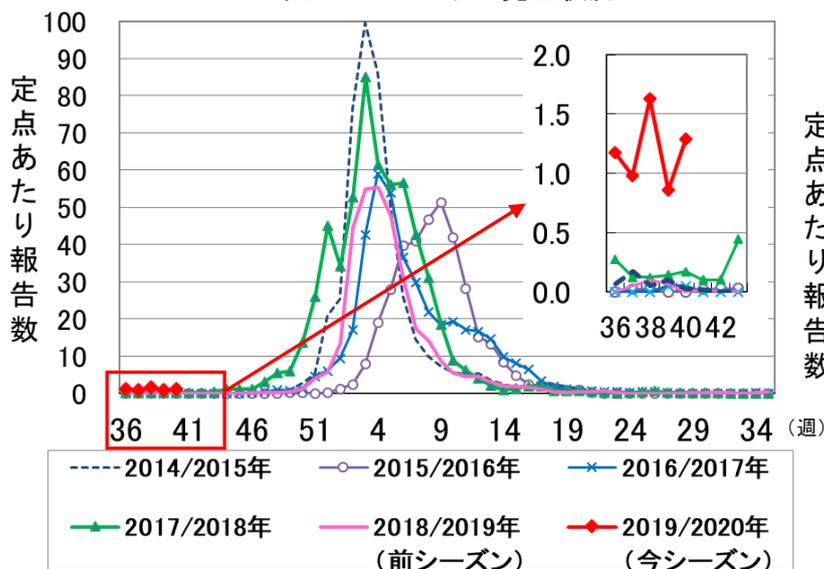
##### 【ヘルパンギーナ】

報告数は71人(2.0)で、前週比186%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.88)の約2.2倍である。延岡(6.8)、日南(2.7)、高鍋(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では3歳以下が全体の約9割を占めた。

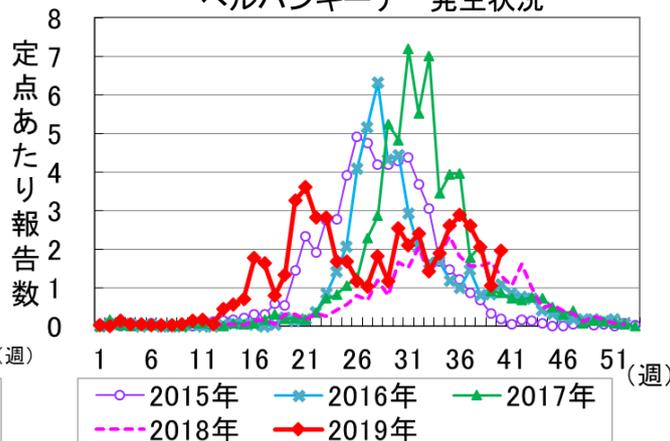


\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

## インフルエンザ 発生状況



## ヘルパンギーナ 発生状況



### ★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があり、0～4歳であった。
- 無菌性髄膜炎：日南保健所から1例報告があり、5～9歳であった。

### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.5)、ヘルパンギーナ(6.8)
日南	伝染性紅斑(2.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(3.0)

#### \* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

## □病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年10月7日までに検出)

### ★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	50歳代	女	2019.09.17	サルモネラ腸炎、発熱(41.4℃)、胃腸炎(下痢、腹痛)、肝機能障害	便	2019.09.27

### ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスB5型	0～4歳	男	2019.08.08	意識障害、けいれん重積、脳症、脳炎、40.3℃、肝機能障害	咽頭ぬぐい液	2019.09.24
コクサッキーウイルスB5型	0～4歳	男	2019.08.08	無菌性髄膜炎、39.1℃	咽頭ぬぐい液、便、髄液	2019.09.24
コクサッキーウイルスB4型	0～4歳	男	2019.09.03	ウイルス性髄膜炎、38.8℃	咽頭ぬぐい液、便、髄液	2019.10.02

○脳炎、髄膜炎の症状を呈する乳児3名から、コクサッキーウイルスB4及びB5型が検出された。コクサッキーウイルスB群は、1～6型に分類され、4・5型は、無菌性髄膜炎、髄膜脳炎、上気道炎、肺炎、心のう炎、心膜炎、心筋炎や原因不明の熱性疾患の患者から分離報告がある。コクサッキーウイルスをはじめエンテロウイルス属のウイルスに起因する無菌性髄膜炎は、通常、夏から秋にかけて患者の増加が見られるため、引き続き注意が必要である。

## 🇯🇵 全国 2019 年第 39 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 39 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	265 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	134 例	腸チフス	1 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	6 例	エキノコックス症	1 例
	チクングニア熱	4 例	デング熱	18 例	日本紅斑熱	3 例
	日本脳炎	1 例	レジオネラ症	53 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	71 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	211 例
	風しん	13 例	麻しん	15 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 89%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 4,543 人(0.92)で前週比 79%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.13)の約 7.1 倍である。沖縄県(34.7)、鹿児島県(2.2)、佐賀県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

RSウイルス感染症の報告数は 7,441 人(2.4)で前週比 81%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(1.5)の約 1.6 倍である。香川県(6.2)、山形県(5.0)、愛媛県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第40週(09月30日～10月06日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	51	76	38	13	4	5	7	8		1	
	定点当り	0.86	1.29	2.38	1.30	0.57	1.00	1.40	1.33	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	124	85	24	14	9	7	5	13	2	10	1
	定点当り	3.44	2.36	2.40	2.33	2.25	2.33	1.67	3.25	2.00	2.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	37	31	15	8		4		1			3
	定点当り	1.03	0.86	1.50	1.33	0.00	1.33	0.00	0.25	0.00	0.00	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	61	70	28	4	4	14	2	10		5	3
	定点当り	1.69	1.94	2.80	0.67	1.00	4.67	0.67	2.50	0.00	1.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	174	165	20	43	11	31	24	6	2	27	1
	定点当り	4.83	4.58	2.00	7.17	2.75	10.33	8.00	1.50	2.00	6.75	1.00
水痘	報告数	4	6	4		1	1					
	定点当り	0.11	0.17	0.40	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	26	48	14	8	16	4		1	4		1
	定点当り	0.72	1.33	1.40	1.33	4.00	1.33	0.00	0.25	4.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	26	30	4	7	10	6				2	1
	定点当り	0.72	0.83	0.40	1.17	2.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
突発性発しん	報告数	24	21	6	2	3	5	1	3		1	
	定点当り	0.67	0.58	0.60	0.33	0.75	1.67	0.33	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	38	71	21	2	27	8		10		2	1
	定点当り	1.06	1.97	2.10	0.33	6.75	2.67	0.00	2.50	0.00	0.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	2								1	1
	定点当り	0.08	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	7	6		1						
	定点当り	1.33	1.17	2.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～40週)

2類感染症	結核	162例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例(1)	腸チフス	1例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例	デング熱	2例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	8例		
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例	クリプトスポリジウム症	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	3例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	11例(1)
	水痘(入院例)	1例	梅毒	17例	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例	百日咳	244例(7)	風しん	1例
	麻しん	1例				

( )内は今週届出分、再掲